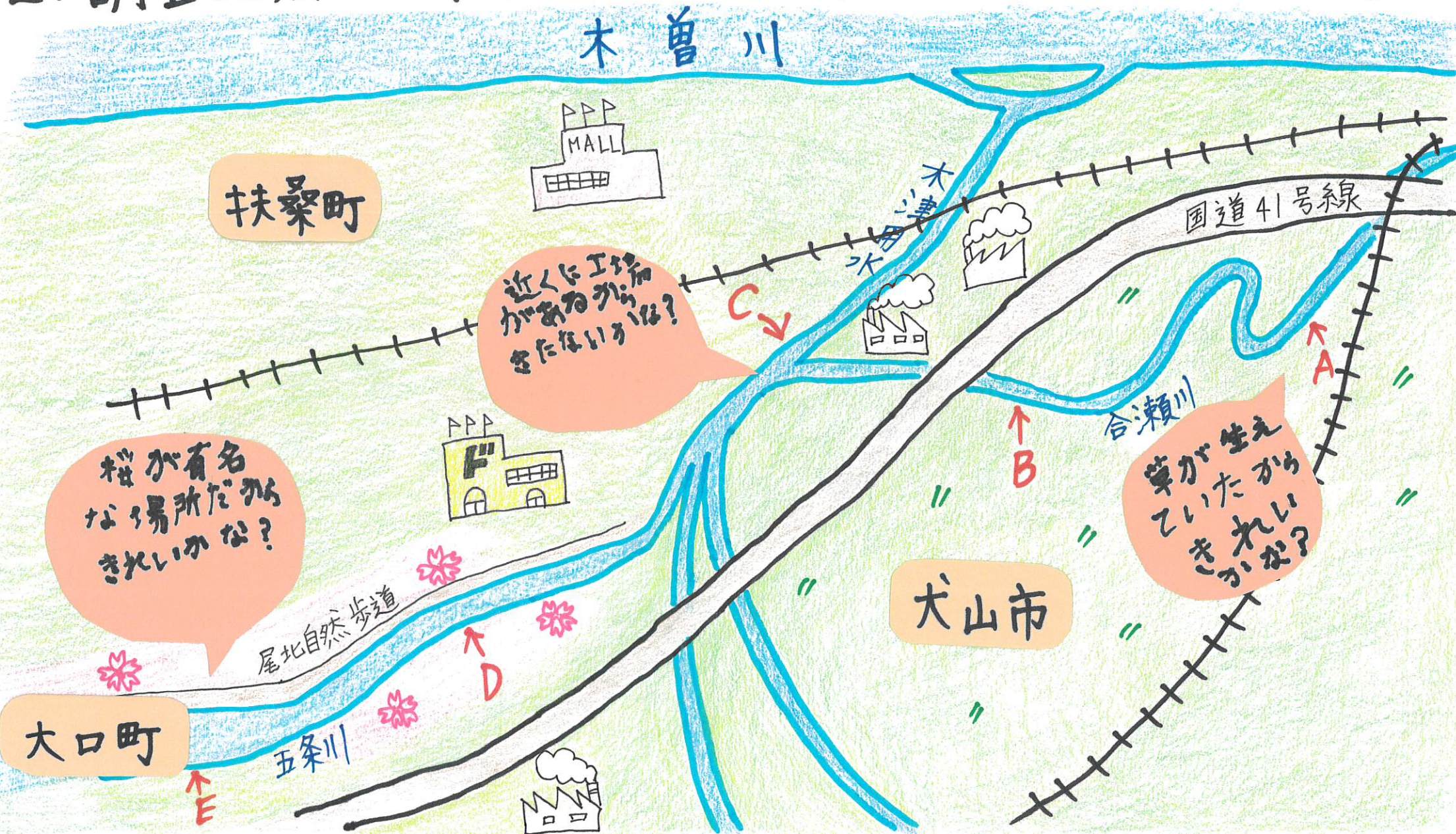


1. 目的

わたしたちのまわりの水や水辺の生き物について調べ、
環境への意識を高める

2. 調査地点

A~Eのうちの地点にて、晴れの日が続いた快晴の午前中に調査



3. 調査報告

3-① 地点A (9月3日、晴れ)



水さな
泡がたあ
たあ
茶色
になっ
ていた



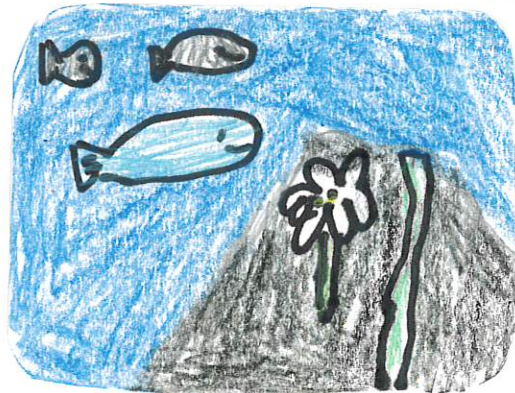
水初の水も 水初の水はつ
アゲハチョウ、ワズ
モンキチョウ 水牛の水はつ
ツラサギ
赤トンボ



地点Aと地点Bの中間地点



さかなのぶたがいた



〈水質の調査〉

COD 7

水のはやさ...はやい
水のおい...においは感じられない
水のにごり...少し黄色、ぽい
透視度...41cm
川には降りられなかった。
川の底は見えない
川は小さな泡もみられた。

3-② 地点B (8月19日、晴れ)



ゴミが
落ちてい
たよー

く水辺のしきもの > く水辺のはくぶつ >
・シオカラトンボ・ツグズダマ
・赤トンボ
・ニホントカゲ
・カモ
・ヒメシバ
・エノコロ草
・ヒメシバ

透視度計をつくりました。



水を減らしながら
真上からみる。
底の十字の真ん中の
四角がみえたら
水をとめる。

ペットボトルをつなげ、底には
1mm幅の二重線の十字を
ひく。

く水の言調査く

COD 8

水のはやす... はよい

水のおい... においは感じない
水にごり... 黄色っぽい

透視度... 41cm

川には降りられなかった

川の底は見える

大きな石に藻が生えている

3-③ 地点C (8月19日、晴れ)



バケツで
みずをくみ
ます。

〈水の言調査〉

COD 4

水のはやさ... はやい

水のおい... においは感じられない

水の量... 多い

水のにじり... 透明

透ネ見度... 45cm

川には降りられなかった川底は見えない
川の水の量は多く、速く近づくとおかしな音がする。

〈水辺のいきもの〉 〈水辺のよけもの〉

- ・ハグロトンボ
- ・赤トンボ
- ・くも
- ・エノコロ草
- ・ゆり
- ・ヒメツバ
- ・ツユクサ
- ・アカトガシワ
- ・ササユキ
- ・よけもの



〈荒井の堰〉



今から約350年前、
木曾川の水を尾北
地方の灌漑用水
としてひいてきたんだって！
それが、木津用水。

3-④ 地点D (9月3日 日青れ)



おちんてきたよ!!
 ぼかたてあわがよ!!



〈水辺のきもの〉 〈水辺のしよふい〉
 ハゴロトンボ ツブズタマ
 カワウ ツラサギ

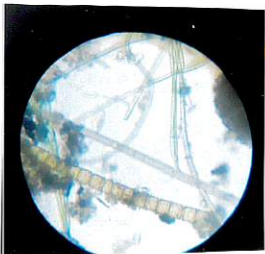


石をひっくり返すと...

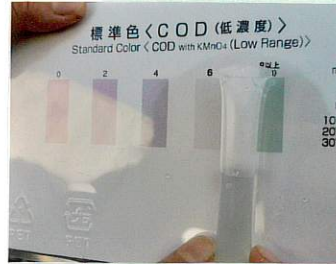


ヒルなどの生き物がいなかった。

石についた藻を顕微鏡でのぞいてみた。



うごいていたよ



〈水質の調査〉

COD 4

水のはわさ... おそい

水のおい... 水のおいには感じない

水の量... 少ない

小のにごり... 透日月

透視度... 41cm

川には降りられた

3-⑤ 地点 E (8月19日 晴れ)



< 水辺の生き物 > < 水辺のよけもの >
 ・ヌマガエル ・カタバミ
 ・ハグロトンボ
 ・ツバキ
 ・カネシロウグモ
 ・セミ



< 水質の調査 >

COD 8
 水のはやさ...遅い
 水のおいしさ...においは感じない
 水のにごり...透明
 透視深度 48cm
 コンクリートの土手が高く川には降りられなかった

4. 生活用水を調べる

ムクロジの實



小さいに
 ボールにいっぱい
 水を入れないと
 魚がすめない



けんさした 液	COD
洗濯の排水直前水	20
ムクロジ水 (昔の人の使っていた石けん)	6

けんさした 液	COD
米のとぎ汁(初め)	100
米のとぎ汁(200倍に うすめた)	6

5.水に関する学び
 -下水道教室に
 参加しました-

みんなの家で使った水

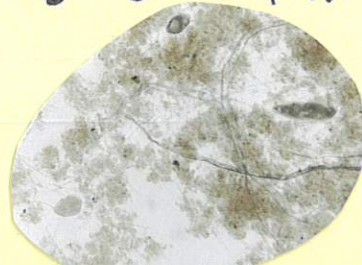


マンホール
 『おれい』
 『おれい』
 『おれい』

マンホール『おれい』
 穴があいている。
 川や海へおれい
 運ばれてる



びせい牛卵が水をきれいにしているよ



リトノータス
 ボルテセラ



アルケラ
 シュトノータス



カラムシ



くさい!!!

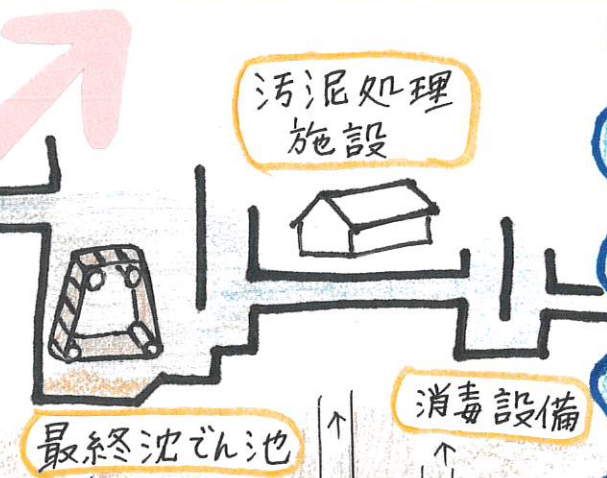
くみあげた水をけがきょうぞのけいたよ



最初沈でん池



反応タンク



下水処理場の地下を見学
 しました。大きなパイプ
 が何本もあって、
 空気や汚泥を
 運んでいるよ

5. 水に関する学が

- 愛知自然再生カレッジに参加しました。
(9月2日)



講義を受ける様子

電気伝導度は源流で低くなるが
CODは変動が大きい。川に住む
微生物が有機物を分解する為
(川の自浄作用)。水が人間にとって
きれいかどうかは、そこに住む生き物
などを含め、総合的に判断する。

みよし市境川に移動

みんなでガサガサした。



みつけたいものを
カマノカ ツクツクボウシ
カダヤン
ヨシノボリ
タイワンシジミ
ヤゴ
ハゲロトンボ
ヒル
ヌマガエル
ヌマエビ
アメリカザリガニの赤ちん



〈水質の調査〉

COD 8

PH 7.5

電気伝導率 14.15



電気伝導率
下降する
汗が入る
しめたいから



水のはやぶ... 透し
水のおい... においは 感じられない
水のにがり... 透明

川の生き物の中にヤゴ
がいたから川の水はき
れいた"と思った。
川のすみには糸周 ちオサガサす
るとカダカニなど小さい魚がた
くさんとみた。

5. 水に関する学び - 愛知自然再生カレッジに参加しました。(9月23日)



講義を受けました。

名古屋市 植田川に移動

ハシゴを使って 高い土手を降り、みんながガサガサしました。



川底の砂はさらさらでくつの中に砂が入ってきた。

<水質の調査>
COD 6
PH 7
電気伝導度 20.7

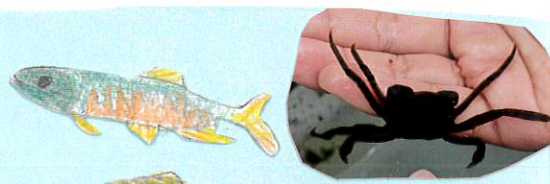
特定外来種



ウシガエルのオタマジャクシ
投げ糸でオオクチバスをとったよ!

<つかまえた生物>

- ・オイカワ (オス・メス)
- ・カワヨシノボリ
- ・スミウキゴリ
- ・ドジョウ
- ・モクズガニ
- ・カマシカ
- ・スポンの赤ちゃん
- ・オオクチバス
- ・ウシガエルのオタマジャクシ
- ・ヤゴ
- ・カタヤシ
- ・オイカワなどの雑魚



かまれ
たし
かいた
たし
かいた
な
な
な

なごや生物多様性センターの見学もしました。



しんぼ
や
かえるか
い

名古屋の 都市の真ん中につられたビオトープ

6. まとめ・感想

父



日常生活に送られる日々の中で、周囲の自然、環境に目を向ける事はほぼなかった。自然は自然であって何もなければそこに在り続けてくれるものだと信じ込んでいたのだ。しかし、今回、近所の水質を調査してみると、道一本隔てるだけで、水棲生物が住みやすかったり、住みにくかったり、虫や動植物が多かったり少なかったりしている事が分かった。これは全て人間が自然環境を変化させたせいだ。変化には良いものも悪いものもある。変化を及ぼす事ができるのは人間だけだと認識した上で、一人一人の自然環境への意識を高め生活していく事が肝要である。

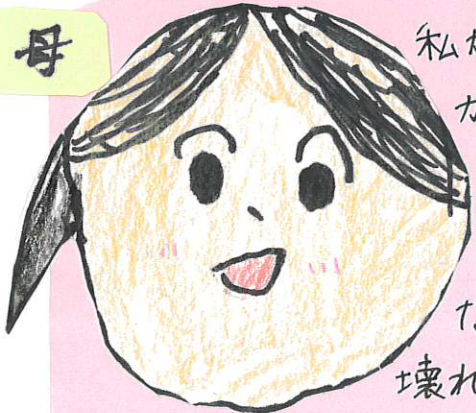
母



カタカシヤオイワなどの禾雀魚をとったのが楽しかった。水の浄化の実験をした。なかなかきれいにならなかったから、水は、大切なことだと思った。



母



私が子供の頃、教室には教材用のウシガエルがたくさん飼われていました。それから一気に広がり、各地で駆除が始まり何年もたちますが、色々な所にウシガエルは残っていて、一度壊れた環境は元には戻らないのだと痛感しました。けれど手を休めてしまえば、最後に残された自然さえ失ってしまう気がします。子供たちには、たくさんの生きものに触れ、楽しんで、今ある自然環境を大切に想う気持ちを育んでほしいと思います。

母



COD地はかるのがたのしかったよ！
かいよはみんなCODがピンク

だったけど、あんなに楽しかったよ。どりにするのこともして、おもしろかったよ。



あんなに楽しかったよ。